

ついこの頃

本田小学校では、最近いろんなことができました。



メダカの卵がかえりました。

6月7日(日)、学校に水やりに行きました。理科室の下駄箱の上に、メダカの卵を入れたシャーレを置いています。ふと見ると、小さな生き物が泳いでいました。メダカの仔魚です。5月28日(木)に、水槽から採集したメダカの卵がかえりました。写真の赤く見える部分は心臓です。時々、水中のプランクトンを食べているのが観察できます。



アオスジアゲハの幼虫はずいぶん大きくなりました。

卵からかえったばかりの小さな幼虫は、もうここまで大きく成長しました。
餌もたくさん食べます。



直径が2 mmほどあります。

ふんも少しずつBIGなサイズになってきました。
もうまもなく、成虫になることでしょう。



夕方、理科室の床を見ると、美しいレインボーが…。

これは、理科室でメダカなどの魚を飼育している水槽がプリズムのはたらきをし、太陽の光が分光され、床にきれいな虹を作ったものです。水槽に差し込む太陽の光の角度がポイントです。太陽が西の空に傾いて、光の角度が変わると消えてしまいます。

6月9日(火)、講堂の裏に一輪車を戻しに行った時、卵の殻が地面に落ちているのを見つけました。



少し破れてから日がたっているようで、卵の殻はずいぶん薄くなっていました。

大きさや色からすると、ドバトの卵の殻と思われます。巣を作っていたのでしょうか。この卵は、ハシブトガラスに食べられたものと思われます。

その日の午後、枯れてしおれてしまったパンジーの鉢を片付けました。その時、しおれたパンジーに何匹かの幼虫がついているのに気がつきました。



ものすごいとげが全身に出ています。色も毒々しいです。何の幼虫でしょうか？

この幼虫は、ツマグロヒョウモンと言われるタテハ科のチョウの幼虫です。触ると刺されそうですが、毒は無いようです。

この幼虫よりもさらに大きな幼虫もありました。きっともうすぐ、さなぎになることでしょう。理科室横の廊下に幼虫のいる植木鉢を並べました。三密にならないように気をつけながら観察してほしいです。

職員室裏のプランターに植えた、アサガオやフウセンカズラはどうなったでしょう？



フウセンカズラです。

つるが、だいぶ伸びてきたようです。アサガオはどうなっているでしょう？



つるが出始めたようです。

実は、写真に撮ることがはできませんでしたが、6月10日(水)朝、アサガオが1輪咲きました。

フウセンカズラも花を咲かせ始めたようです。

生き物たちは毎日違った姿を見せてくれます。生き物を観察することはとても楽しいことです。